

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2024年度(令和6年度)第5回理事会議事録

1. 開催日時 2024年11月13日 14:00-17:00

2. 開催場所 東京大学理学部1号館105号室

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 12名 (定足数 11名 会議成立)

4. 議長 理事 ウォリス サイモン

5. 出席役員

理事 ウォリス サイモン

理事 小口 高

理事 阿部 なつ江

理事 高橋 幸弘

理事 道林 克禎

理事 和田 浩二

理事 沖 理子

理事 小口 千明

理事 掛川 武

理事 関 華奈子

理事 田近 英一

理事 宮嶋 敏

監事 鈴木 善和

監事 春山 成子

6. オブザーバー

固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡

地球生命科学セクションバイスプレジデント 掛川 武

情報システム委員会委員長 興野 純

環境災害対応委員会委員長 宮地 良典

学協会長会議議長 鷺谷 威

事務局長 末廣 潔

7. 審議事項

第 1号議案 新入会員承認の件

・定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議した。これを承認した。

第 2号議案 システムリプレイス検討タスクフォース 設置の件

- ・システムリプレイス検討タスクフォースの設置を審議した。これを承認した。

第 3号議案 男女共同参画学協会連絡会の25期幹事学会の担当について

- ・連合として参加している一般社団法人男女共同参画学協会連絡会から、幹事学会就任の打診があった。審議の結果、これを承認した。

第 4号議案 その他

○団体会員以外の組織からの共催セッション申請の可否認定について

和田委員長から団体会員以外の組織からの共催セッション申請の可否認定について緊急動議があり、審議した。

以下の共催セッションについて、それぞれを審議した。

1. H-CG21 (Task Group on Submarine Geohazards, International Union of Geological Sciencesとの共催)
2. U-11 (一般社団法人 防災学術連携体との共催)
3. S-IT17 (Commission of Physics of Minerals (CPM), International Mineralogical Association (IMA)との共催)
4. S-IT18 (Commission of Physics of Minerals (CPM), International Mineralogical Association (IMA)との共催)
5. S-IT20 (Commission of Physics of Minerals (CPM), International Mineralogical Association (IMA)との共催)
6. O-07 (文部科学省研究開発局海洋地球課との共催)
7. O-07 (国連海洋科学の10年国内委員会との共催)
8. A-CG40 (国連海洋科学の10年国内委員会との共催)
9. O-10 (防災学術連携体との共催)

ただしO-10は事前申請がなく本理事会の場での承認申請であった。これに対し末廣事務局長より申請締め切りの順守が望まれるとのコメントがあった。

申請された共催提案はすべて認められたが、今後も利益相反の観点などから慎重に検討を進めることとした。

○RDMタスクフォース任期2年延長について

ウォリス会長よりRDMタスクフォースの任期を2年延長することについて緊急動議があり、審議した。これを承認した。

8. 報告事項

1. ウォリス サイモン代表理事 職務報告

○2026年ジョイントミーティングタスクフォースの活動報告があった。

・”Transformative science for life and Earth”をキャッチフレーズとしてAGU側に提案することとなった。次回の会合で、イベントの枠組みについて検討する予定である。

・AGU側のプログラム委員長がCarol Finn氏に決定した。

○AOGS 2026大会について

・2026年にAOGSが福岡での開催となった。JpGU-AGU Joint Meetingと同年に日本での開催となるため、佐藤毅彦プレジデントと情報交換を行っている。以前AOGSが札幌で開催した際のように協力体制を組みたいという検討をしている。

○連合大会の国際化・英語化について

・大会のセッション提案が締め切りとなった。セッション数は2024年大会に比べ約10%程度の増加となった。Eセッションは38%から43.8%に増加した。

・Jセッションでもスライドの英語化を推奨しているが、その周知が充分でない恐れがある。大会運営担当の和田理事と調整して、セッションのコンビナーや会員への周知を準備する。

2. 小口 高理事 職務報告（総務・国際戦略担当）

○国際戦略関連の報告があった。

・11月1日に開催したグローバル戦略委員会会議の報告があった。JpGU-AGU Joint Meeting 2026タスクフォース開催報告、AGU出展準備の報告、AGUより発出されたEthical Framework Principles for Climate Intervention Research に関する報告、2026年大会セッション原案の調査結果報告、GGGタスクチームの若手・学生コミュニティ向けのアンケート結果暫定版の紹介などの話題があった旨、報告があった。

3. 阿部 なつ江理事 職務報告（大会・ダイバーシティ・教育担当）

○AGUの呼びかけで活動しているGlobal Geoscience SocietyのTask Teams のうち Inclusion and Representation in Geoscience のInclusion and representationの活動報告があった。各団体のEthicに関わるガイドライン等をまとめている。

○高校生国際ポスター発表について

・2025年大会のセッション提案の中に高校生の国際ポスター発表というものがあった旨報告があった。2025年大会のセッションとしては採択されなかった。2026年大会で何らかの形で開催できるか検討を始めている。

和田大会運営委員長より、2026年大会に向けて前向きに検討するが開催の確約はできないというコメントがあった。

事務局より、大会における各イベントの提案、開催に向けた検討については公平な形で進めてほしいというコメントがあった。

田近広報普及委員長より、既存の高校生ポスター発表だけでも運営負担が大きく、また事務局の負担も大きいので、国際ポスター発表セッションを企画する場合には事前調整が必要であるというコメントがあった。

4. 河宮 未知生理事 職務報告（財務・情報・ジャーナル）

報告を省略した。

5. 原田 尚美理事 職務報告（広報・災害環境・顕彰）

報告を省略した。

6. 高橋 幸弘理事 職務報告（国際戦略）

○関連学会との連携について

- ・人工知能学会共創活動タスクフォースの活動を進めている。12月20日に合同研究会を開催する。

- ・環境経済・政策学会との連携活動を進めている。連合大会へ三件のセッションを提案した。

○国際化について

- ・モンゴルの物理学会および地球物理学会とパートナーシップを結ぶべく、連絡を取り合っている。

7. 道林 克禎理事（総務担当）職務報告

- ・連合が後援したイベントについて報告があった。

8. 成瀬 元理事（財務担当）職務報告

- ・財務報告を事務局が代読した。追加予算の申請一覧を報告した。用意していた予備費の中で支出できるため、すべてを受けつけた。

- ・予算申請についてこの後案内する。締め切りまでに申請してほしい。

9. 和田 浩二理事（大会運営担当）職務報告

○大会準備関連の報告があった。

- ・セッション採択数の報告があった。仮コマ数が484コマとなり昨年より増加しているが、全体としては収容できる予定である。

- ・必要経費の増加、物価の上昇に伴い、参加登録費は一般で500円増額とする（学生等は据え置き）。

- ・投稿料は据え置きとする。

- ・ハイブリッド大会の開催概要について説明があった。持参PCの持ち込みについては検討中。ポスター講演資料はオンラインへの掲示を必須とする。

- ・現地ポスター発表はこれまで通りとする。

- ・Joint Meetingに向けて2025年大会の方策として、ジョイントセッションは発表者1名を参加費無料とする。

- ・パートナーユニオン、団体会員、国際連携組織のほか、団体会員以外の組織との共催について準備している。

- ・展示について、出展料10%値上げを予定している。出展募集の時期をはやめること、セミナー枠の確保などを検討している。

- ・現状の主な課題として、現地口頭発表のスタイル、イベント企画が挙げられた。

- ・今後のスケジュール案が示された。

10. 沖 大幹理事（グローバル戦略担当）職務報告

- ・小口副会長より代理で報告を行った。

11. 広報普及委員会活動報告（田近理事）

- ・高校生のための公開講座を12月26日に開催する。

- ・JGL11月号の編集作業を行っている。近日発行予定である。

・高校生ポスターセッションは来年20回目を迎える。審査員の確保が重要であるので、是非協力してほしい。代議員にも協力を要請したいというコメントがあった。

12. 環境災害対応委員会報告（小口 千明理事）

○環境災害対応について、宮地委員長より代理で報告があった。

- ・パブリックセッションの提案を行った。
- ・災害時の情報についてホームページに掲載を行っている。今後は委員会ホームページの整備と体制の検討、マニュアルの作成を行い、対応していくことを検討している。

13. ダイバーシティ推進委員会活動報告（堀利栄理事）

○ダイバーシティ推進委員会について小口理事より代理で報告を行った。

- ・「雇止め」緊急アンケートの協力を行った。
- ・2025年大会に向けての準備活動報告があった。大会保育ルーム、学童保育（日曜日のみ）、高校生向けセッション、キャリア相談、企業と学生とのマッチングの説明があった。
- ・女子中高生夏の学校の参加報告があった。
- ・AGU との共催でユニオンセッションを提案した。

14. 教育検討委員会活動報告（宮嶋敏理事）

○教育検討委員会の活動報告があった。パブリックセッションの提案を行った。小中高教員のための地球惑星科学教育研修の実施報告があった。

○各小委員会の活動報告があった。教育課程小委員会は会議を開催し、パブリックセッションの提案準備、次期学習指導要領の検討を行った。国際教育対応小委員会はアースサイエンスウィーク・ジャパンの開催に協力した。防災教育小委員会は、パブリックセッションへの提案準備、ぼうさいこくたいへのポスター出展を行った。教員養成WGは9月22日に会議を行い、今後の検討課題について議論した。

○学習指導要領の改訂時期が近付いており、それに合わせて教科書の内容の検討を行っている。地理は必須であるのに対し、地学は25%程度の生徒が学習しているにとどまっている。

○各協力団体の活動として、地学オリンピック、地理オリンピック、理数系学会教育問題連絡会運営委員会の活動について紹介があった。

○小中高教員は現在大会参加登録料が免除となっているが、2024年大会では十分な宣伝ができずに活用されていない。2025年大会では十分に事前宣伝を行う予定である。

15. 情報システム委員会活動報告（村山担当理事）

・興野委員長より代理で報告があった。システムリプレイスの進捗について報告した。RFPの作成の補助作業について3社から見積もりを得て検討し、その結果サイバーウェーブ社にRFPの作成の補助作業を発注することを決定した。

・RFPの完成後、システム作成について入札を行う。RFP作成の補助者であるサイバーウェーブ社が入札に参加することは公表したほうがよいというコメントがあった。

16. ジャーナル関連活動報告（掛川理事）

○ジャーナル関連活動の報告があった。

- ・課題検討・解決のためのWGを設置し、活動を開始した。

・論文投稿・出版状況について報告があった。順調に推移している。SPEPSについてはやや遅れがみられるが、準備出版される予定である。

17. 顕彰委員会活動報告（道林理事）

・各賞の募集要項を公表した。まもなく推薦受付期間となる。

18. その他（セクションからの報告）

○固体地球科学セクションから活動報告があった。

・セクションの賞の制定について活動を行っている。規則案を作成し、ボードと代議員で審議を行っている。年明けには理事会に発議する予定である。準備が順調に進めば来年後半から賞の募集を開始し、2026年大会に授賞式を行うことを目標としている。

・地球生命科学セクションでも同様に賞の設置を準備しているというコメントがあった。

・道林総務理事より、公益事業として認められたセクションの活動として実施できるようにしたいというコメントがあった。

○学協会長会議の活動報告があった。

・鷺谷議長より、学協会長会議の幹事会を選任したことについて報告があった。また学協会長会議の開催を予定している。同会議では学協会との意見交換を行う。

○その他

・政府により防災省の設置が検討されているという情報提供があった。設置された場合、既存の組織に影響があることが見込まれるので、今後注視していく必要がある。

以上

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後17時00分）
以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

2024年11月13日

出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	和田	浩二	印
出席理事	沖	理子	印

出席理事	小口	千明	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	関	華奈子	印w
出席理事	田近	英一	印
出席理事	宮嶋	敏	印
出席理事	鈴木	善和	印
出席理事	春山	成子	印